

総合ビジネス科

(令和4年度職業科より改編)

<商業高校に準じた教育課程>

普通教科に加え、商業に関する専門教科である情報処理、簿記、ビジネス文書などを学習し、様々な検定の資格取得を目標とする学習を通じて、身体障害のある生徒に対して職業自立を目指した教育を行っています。また、授業は少人数で、生徒の能力に応じた個別指導も取り入れています。高等学校と同じように、定期考査を行い、所定の単位を修得して進級・卒業します。

<新しい取り組み>

従来のビジネス実務に必要な基礎知識や技術に加え、コミュニケーションスキルやビジネスマナーなどを身に付け、生きて働く知識・技能の習得にさらに力を入れていきます。

<特色ある学び>

その1：情報処理

主に表計算ソフト(Excel)の基本操作から関数の利用、グラフ作成方法を学習し、ネットワークの活用や情報モラルについても学びます。

その4：課題研究

他の学科との垣根を越えて、共同学習を目指していきます。

その2：簿記

企業の経営活動を知り、取引の記帳や各帳簿の作成方法を学習します。商業簿記・工業簿記の両方を学びます。

その3：ビジネス文書

ワープロソフト(Word)を使い、文字入力の練習やビジネス文書の作成方法など、基本操作から応用操作まで学習します。また、ビジネスマナーについても学びます。

過去5年間の進路先(職業科)

- グローリー(株)
- (株)兵庫製作所
- 御国色素(株)
- 東リ(株)
- リタリコワークス尼崎
- P&G(株)
- (株)ニッセイ・ニュークリエーション
- (株)日本技術センター



<検定取得>

全国商業高等学校協会主催の情報処理、簿記、ビジネス文書、珠算・電卓検定を受検しています。各検定は年2回ずつ実施されていて、検定を受検することで学ぶ意欲を高め、合格することで自己肯定感を養うことができます。

多くの検定試験を受けるためには、基礎的な学力と、授業だけではなく練習問題に自ら取り組む意欲的な学習態度が望まれます。

全国商業高等学校協会主催



<過去 5 年間の合格者内訳>

		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年	R2 年度
職業科 在籍人数	3 年	2	2	2	1	2
	2 年	2	2	1	2	3
	1 年	2	1	2	3	1
情報処理	1 級					1
	2 級	2		3	1	
	3 級	2	1	2	1	
簿記	会計 1 級					1
	原価 1 級	1	2			1
	2 級	2	3	1	2	2
	3 級	2	1	3	3	
ビジネス 文書	1 級	3		1	1	1
	2 級	1	1	1	3	1
	3 級	1		3	1	
	4 級	2	1		2	
珠算・電卓	1 級		3	2	1	2
	2 級	2	2	2	2	
	3 級	4	1	2		

たつの

県立播磨特別支援学校（たつの市揖西町中垣内）職業科3年生の平田千歩さん（18）が、商業系検定9種目のうち、4種目の1級に合格した。4冠は同校初といい、指導教員らは「授業時間が少ない支援学校でよく達成できた」と偉業をたたえている。

（直江 純）

特別支援学校生 全商検定 4 冠

4 種類の合格証書を前に笑顔を見せる平田千歩さん（右）と指導した久保田忠良教諭＝播磨特別支援学校



合格したのは全国商業高校協会（全商）が実施するビジネス文書検定▽珠算・電卓実務検定▽簿記実務検定▽情報処理検定ビジネス情報部門一のそれぞれ 1 級。検定は他にも 5 種目あり一般の商業高校では、まれに「9 冠制覇者」が出る。

しかし、播磨特別支援学校の授業では 4 種目しか対応できず、時間数も商業高校の 8 割程度しか割けないという。平田さんは手足が不自由で、車いすが必要なため、校内で寮生活を送る。手指が短いなどの先天的な障害があり、自習時間も限られる中で難関を制覇した。

特に苦労したのは簿記。社会人向きの日商 2 級と同程度の知識が問われ、

平田さんは「原価計算が難しくて、3 度目で何とか合格できました」とはにかむ。

パソコンのキーボードは、手元を見ずに打つタッチタイピングを習得。二つのキーを同時に押すショートカット機能は両手を使うなど自分なりの工夫を重ね、表計算ソフト「エクセル」の基本的な関数も使いこなしている。

勉強以外でも、3 年時には生徒会長としてリーダーシップを発揮した平田さん。卒業後は加古川市の実家から同市内の鉄鋼系メーカーに通勤する。コンピューターで製品の設計をする業務にも就く予定といい「新しい生活は不安もあるけど楽しみです」と話した。

「播磨」職業科 3 年
平田千歩さん 校内初の快挙